

## 家庭科で養うのは、自分の生活を

### よりよくしようと工夫するチカラ。

「家庭科」と聞いて、皆さんはどんなことイメージしますか。

調理実習、被服製作実習……。浴衣を縫った！なんていう方もいるでしょう。

実は家庭科は、人間らしく賢く、環境にも優しく生きるための大事な教科。

この家庭科教育の第一線で研究活動を続けるとともに

次代の家庭科教育の担い手を育てているのが、上野顕子先生。

創意と工夫を凝らした授業で、家庭科の魅力と重要性を発信しています。



## 家族のカタチは、ひとつじゃない。

衣・食・住・家族・消費・保育など、家庭科は扱う範囲がとても広い教科です。環境共生、高齢者と福祉など、いま私たちが直面している課題もとりあげています。その中で私が主に力を入れているのは「家族」に関する教育です。なぜ家族に興味を持ったかといえば、中学校の現代社会の先生がとても面白い先生で、授業の中で色々な国の家族のことや生活のことを教えてくださり、家族のカタチも色々でいいんだと思ったことがひとつ。私の父親が心臓病で亡くなってひとり親になり、その後母方の祖父母と一緒に生活をして、家族のカタチが私の中で短いスパンで変化していき、自分の中に劣等感のようなものがあつたことも背景にあります。

## カナダの家庭科に学ぶ 家族のあり方、多文化共生教育。

初めてカナダ(ブリティッシュ・コロンビア州)に行ったのは大学2年生の時。多文化社会のカナダに魅せられ、大学院もカナダに。当時の日本の家庭科の教科書には家族とはこういうものですと書いて

あつたけれど、カナダでは家族についてどう教えているのか知りたかったのです。カナダは世界200カ国以上から毎年移民を受け入れている多民族国家。多様な民族が互いの文化を尊重しながら共生していることから「モザイク国家」と言われています。家庭科教育における家族の捉え方も「家族だと思った人が家族である」という考え方。カナダでは多様な文化を持つ人たちが複雑に絡み合い生活しているので、家族のあり方も一様ではありません。でもその中で共通にあるものは何だろうということも子どもたちに考えさせ、気づかせる。一緒に生活している、お互いを思いやる、困った時は助けるなど、家族の多様性も認めるけど、共通することもあるよね、と。

そんな日本とカナダの家庭科教育の比較研究をしている中で「多文化共生教育」にも興味広がってきました。というのも、日本では外国人労働者数が増え、地域の小中学校で学ぶ外国人生徒も増えています。そうした外国につながる子どもたちと日本の子どもたちが互いに理解しあい、共生意識を育むことがこれからの社会ではとても重要だと思ったのです。カナダの家庭科で行っている多文化共生教育に示唆を得て作成した『グローバルな時代における家庭科教育で多文化共生教育を実践するための手引き』(共著)も、



## 上野 顕子 教授

UENO Akiko

金城学院大学 生活環境学部  
生活マネジメント学科教授

横浜国立大学教育学部卒業、同大学院修士課程修了。カナダのアルバータ大学大学院博士課程修了。中学・高等学校教諭などを経て2002年金城学院大学生活環境学部環境情報学科専任講師。助教授、准教授を経て2012年同大学院人間生活学研究科教授、同大生活環境学部生活マネジメント学科教授。

所属学会：日本家政学会  
日本家庭科教育学会  
日本家族社会学会  
日本消費者教育学会 ほか

そんな思いから生まれました。グローバル時代にあって、家庭科教育の果たす役割は大きいと思います。多文化共生は、今後もさらに研究を深めていきたいテーマです。

### ネットショッピングを賢く利用しよう。

近年は、消費者教育にも力を入れています。中高生のネットショッピングの実態調査や教材開発に取り組むようになったのは、本学の長谷川元洋先生(国際情報学部 国際情報学科教授)が「情報科では情報モラルを教えられても、消費者視点でネットショッピングを安全に利用するための知識を教えられるのは家庭科。だから一緒に研究しよう」と誘ってくださったことに遡ります。それから10年。オンライン教材を開発している新谷洋介先生(現金沢星後大学准教授)にも加わっていただき、3人で開発した「クレジット決済によるネットショッピングの疑似体験教材」は評価をいただき、中学校の家庭科授業などで使われています。いま、ネットショッピングの利用者は低年齢化がどんどん進んでいます。また、特別な配慮を要する子どもに対するネットショッピング指導も求められています。やりたいことは、まだまだたくさんあります(笑)。



クマノミ発見!



## 上野先生の 趣味は？

家族で旅行に行き、ダイビングを楽しむこと。家族は夫(カナダ人)と、長男、長女の4人。写真は沖縄の海を潜っていた時のもので、大きな亀が私たちの方に向かって泳いできて、目の前をゆったりと横切っていた時は、大きな感動に包まれました。

## 上野先生の著書&開発教材を ご紹介します。



高等学校  
家庭科教科書  
(東京書籍 / 共著)



中学校  
技術・家庭科用教科書  
(東京書籍 / 共著)



『家庭科ガイドブック』(共著)は、日本に来て間もない小学生の子どもたちが、日本の家族や衣食住を自分の母語で理解できるよう、日本語、英語、中国語、ポルトガル語、フィリピン語の5ヶ国語で作成。



ネットショッピング疑似体験サイト「レインボーショッピングモール」。実際に品物が届かないだけで、リアルな体験ができると評判です。